

本資料は、当社の事業、業績等を説明する為の参考資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
本資料の権利は当社に帰属します。無断複製を行わないようお願い致します。

第5期(2003年3月期)決算説明会資料

2003年5月16日

株式会社ビーマップ


HERCULES
ヘラクレス上場会社: 4316

創業経緯と事業目的



ビーマップの事業ドメインは

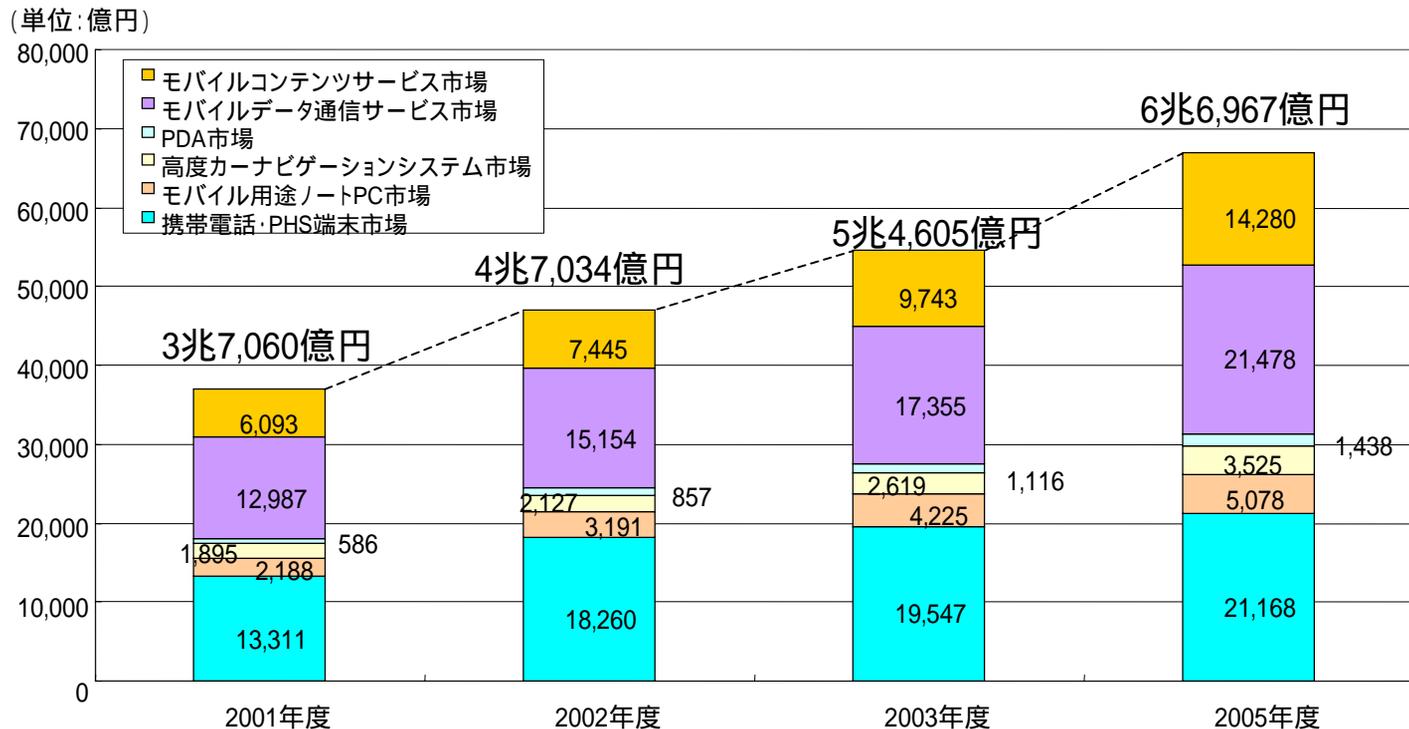
多種多様なモバイル端末へのコンテンツサプライを可能にする
ソフトとサービスの提供

Best Mobile Application Producer



モバイル市場の成長と、ビーマップのビジネス機会

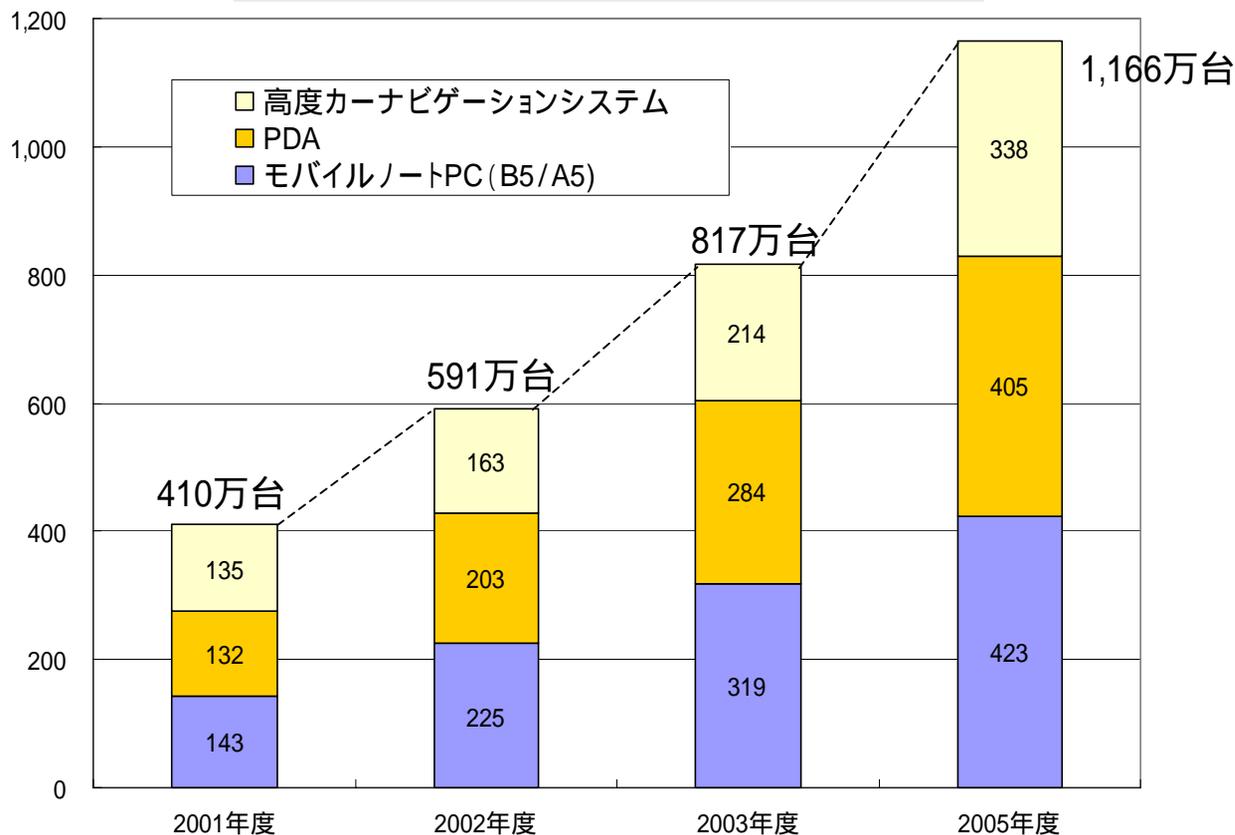
モバイル情報機器・サービス市場規模予測



モバイル端末ユーザーが、ビーマップの潜在顧客

(単位:万台)

携帯端末機器出荷台数予測



ビジネス環境の展望

- 短距離通信技術の統合により新しい顧客ニーズ・サービスとビジネス機会が生まれる。
- とりわけ今後は業務用パッケージのニーズ増加が見込まれる。

通信・ネットワーク環境の進化

インフラ・プロトコル

通信網のIP化
(VoIP等)

通信コスト

通信端末

マルチ通信環境による
ハイブリッド化
(PDC、CDMA、赤外、
無線LAN、Bluetooth)

一部無線通信の
固定料金化
(PHS等)

短距離無線通信技術
による新サービス
(赤外利用の決済、電子財布など)

用途・ニーズ

モバイルを利用した
業務用パッケージ
のニーズ増加

既存の通信・ネットワーク環境

LAN

インターネット

業務系システム

既存無線端末

その他...

システム統合/
インターフェース

ビーマップのターゲット・事業機会

事業ドメイン

多種多様なモバイル端末へのコンテンツサプライを可能にする
ソフトとサービスの提供

ターゲット



ノートパソコン、PDA(携帯端末)、携帯電話、PHS、移動者に係わるコンテンツ・ソフトウェア

事業機会

急拡大を続けるモバイルマーケットでのソフトウェア・新サービス提供

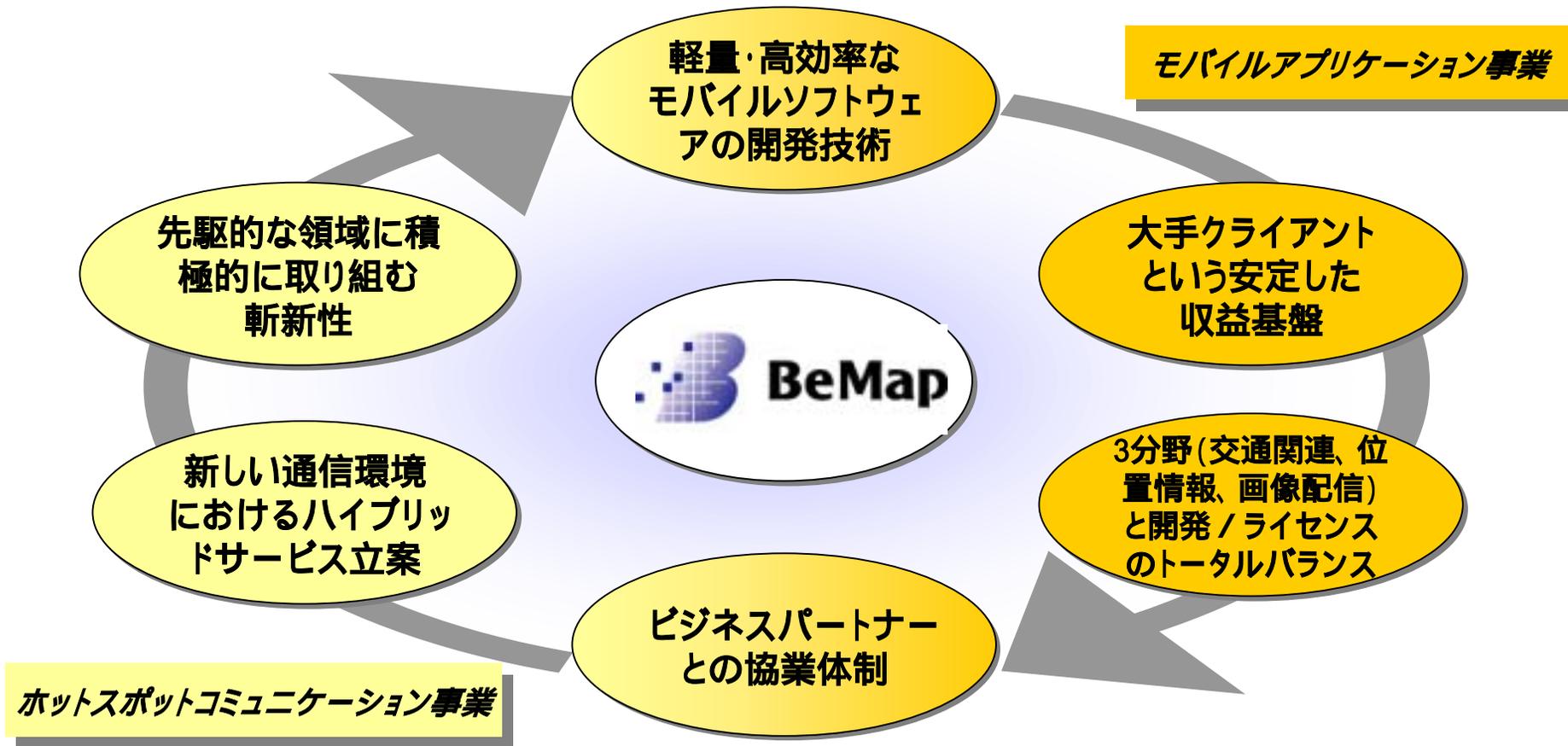
現在の主軸
モバイルアプリケーション事業
・ソフトウェア企画開発・運用
・アプリケーションライセンス提供

無線LANの市場機会を開拓
ホットスポットコミュニケーション事業
・無線LANインフラ・業務アプリ企画開発
・モバイルコンテンツ配信課金



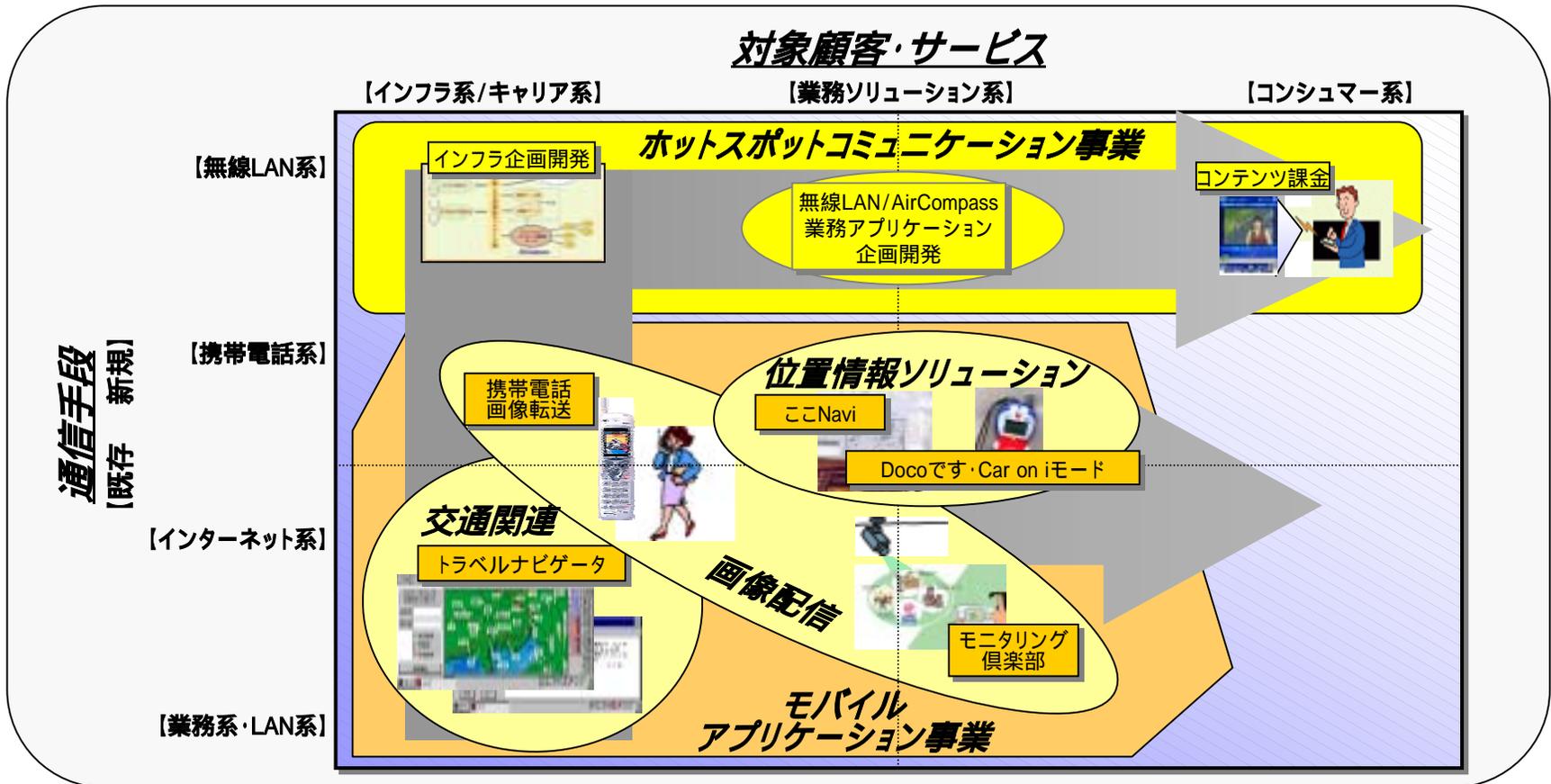
当社の強み / ビジネススパイラル

■6つの強みが、2つの事業に相乗効果を発生し、ビジネス機会を拡大。



当社のビジネス展開

- 通信手段の進化に併せ、既存ビジネスで培った技術・ノウハウを無線LAN分野で展開
- インフラ系/キャリア系で蓄積した技術・顧客基盤を業務ソリューション系サービスに展開中



ビーマップの主要クライアント

- 各事業分野で大手企業をクライアントとして獲得、安定した顧客基盤およびビジネスパートナーとしての良好な関係を構築。

